

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	40° 36′ 0.99″	橋梁ID
				経度	141° 22′ 40.98″	
神明橋 シンメイハン	阿光坊線	上北郡おいらせ町阿光坊				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
おいらせ町役場	2021.8.11	奥入瀬川	あり	一般道	その他	電力

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)					定期点検者		
定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	腐食(塗装・メッキ・金属溶射)	写真1,主桁01			
	横桁						
	床版	Ⅱ	床版ひびわれ	写真2,床版01			
下部構造		Ⅱ	ひび割れ(RC)	写真3,橋脚梁部01			
支承部		Ⅲ	腐食(支承)	写真4,支承01			
その他		Ⅱ	腐食(塗装・メッキ・金属溶射)	排水ます01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)	
定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	支承に腐食が見られるため、早期対策として支承塗装工を行う必要がある。また、コンクリート部材にはく離・鉄筋露出、ひび割れからの 滲出(遊離石灰)が見られるため、予防保全の観点から断面修復工、ひび割れ補修工を行うことが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)		
架設年次	橋長	幅員
1971年	182m	4.80m
橋梁形式		
単純合成鋼鈑桁橋		
起点		終点
		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁、横桁)【判定区分：Ⅱ】		上部構造(床版)【判定区分：Ⅱ】	
写真1		写真2	
下部構造【判定区分：Ⅱ】		支承部【判定区分：Ⅲ】	
写真3		写真4	
主桁01		床版01	
橋脚梁部01		支承01	